

## 単元観

本単元は、中学校学習指導要領社会(以下指導要領)2(5)近代の日本と世界をもとに設定したものである。社会科歴史的分野の目標に、「歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させ、それを通して我が国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる。」とある。

日本の幕末から明治、大正、昭和にかけての歴史は、現代につながる出来事が多い。特に明治維新からの近代化政策は、指導要領2(5)イにおいて、「開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化などを通して、新政府による改革の特色を考えさせ、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解させる。」とあるように、現代の基礎と密接に関連しているといえる。さらに明治維新は複雑な国際情勢の中で独立を保ち、近代国家を形成していった政府や人々の努力の成果であると捉えることができる。

このことから、明治維新の政策を学ぶという本単元の学習は、社会科の目標である、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、社会的な見方や考え方を身に付けさせるため、きわめて有意義なものであると考える。

### 「一中におけるコンピテンシー」

本単元では、本校で設定している4つのコンピテンシーのうち「論理的思考力」を育成していく。

本単元での「一中におけるコンピテンシー」を「論理的思考力」と設定した理由は、歴史的分野では、我が国の歴史の大きな流れの理解が重要であり、そのためには歴史的事象という結論だけを見るのではなく、世界の歴史を背景に、政治の展開、産業の発達、社会の様子、文化の特色など他の時代との共通点や相違点に着目して各時代の特色を根拠にし、明確にしなければならないからである。こうしたことから開国後の明治維新の必然性を考え、学ぶことは、論理的思考力の育成に有効な単元であると考えられる。

### ～学習内容の関連(系統性)～

小学校	中学校1年生	中学校2年生	中学校3年生
黒船の来航 明治維新 文明開化 明治の近代化 (廃藩置県, 四民平等)	【歴史的分野】 歴史のとらえ方  【地理的分野】 世界の諸地域	【歴史的分野】 近世の日本  開国と近代日本の歩み  【地理的分野】 日本の諸地域	【歴史的分野】 二度の世界大戦と日本  現代の日本と世界  【公民的分野】 地球社会と私たち

## 生徒観

本学級の生徒に、社会科への興味・関心を問うアンケートを実施したところ、以下のようになった。

	好き・できている	どちらかというと好き・できている	どちらかというと苦手・できていない	苦手・できていない
社会科の授業が好きです	22.5 %	60 %	12.5 %	5 %
地理的分野の授業が好きです	20 %	42.5 %	30 %	7.5 %
歴史的分野の授業が好きです	22.5 %	30 %	37.5 %	10 %
授業で積極的に発表をすること	7.5 %	27.5 %	35 %	30 %
理由・根拠を探したりつけたりして自分の考えや意見をもつ	5 %	35 %	47.5 %	12.5 %

歴史的分野に対して生徒の捉えとして、肯定的な回答が 52.5%、否定的な回答が 47.5%とおおよそ半々となっており、まずは意欲をもたせることが課題である。地理的分野と歴史的分野における、肯定的な意見をもつ生徒の差は、「どちらかというと好き」と回答した生徒の割合に起因しており、各分野の関連付けができていない生徒が少ない。また、理由・根拠を探したりつけたりして自分の考えをもつことや、その考えを積極的に発表することが苦手な生徒も多い。

明治維新における諸政策の内容を説明できるかどうかというレディネステストを実施した。以下はその結果である。

	説明することができる	聞いたことがあるが説明できない	聞いたことがない
地租改正	12.5 %	75 %	12.5 %
徴兵令	10 %	60 %	30 %
学制	5 %	72.5 %	22.5 %
文明開化	17.5 %	72.5 %	10 %
明治維新	10 %	80 %	10 %

レディネステストの結果から、小学校で学習した内容について、語句を暗記している生徒は多いが、知っていてもうまく説明できると回答した生徒は少ない。

#### 「一中におけるコンピテンシー」

明治維新が何のために行われたのかを尋ねた結果、ほぼすべての生徒が世界の歴史を背景に回答することができなかった。これは、小学校社会科における歴史の学習が、人物の働きを通してのものに重点を置いているからであること。さらに歴史の大きな流れを捉えることができず、日本の歴史と世界の歴史のつながりを考えることができていないことがうかがえる。こうしたことから、論理的思考力が十分に身につけていないことが考えられる。

### 指導観

日本が近代化のために、様々な諸制度や社会の仕組みを整えたことについて論理的に考察する力を身に付けさせたい。

まず、意欲を引き出すため、ICTを活用して主体的に追究する学習場面を設定する。また、明治維新の歴史的な特色や諸外国との関わり等について、多面的・多角的にとらえさせるため、多様な資料を関連づけて活用させる学習場面を設定する。

さらに、自分なりの考え方を持たせ、思考力・判断力・表現力を高めさせたい。そこで、情報を序列化して考えることを促す思考ツールとしてピラミッドランキングを用いる。明治維新の中でより重要性の高いものを整理し、完成したランキングからその理由を考えさせ、表現させる。ランキングの作成は、あくまで思考を深めるためのもので、そのこと自体が目的ではないことに注意させる。

#### 「一中におけるコンピテンシー」

本単元で設定した「一中におけるコンピテンシー」の「論理的思考力」の育成のため、「手立て」として結論と根拠を明確にできるワークシートを活用し、当時の世界情勢などの既習事項と関連付けさせ、結論あるいは判断とその根拠や証拠をセットにし、表現させる「すべ」を身に付けさせたい。また交流の場面において、自分の意見と違う意見が出た際に疑問に思ったことを記録させるワークシートを用い、「本当にそれが正しいのか」という前向きな疑問(批判的思考力)という「すべ」を使わせることで、思考の深化を図りたい。

## 単元の目標

○欧米諸国とのかかわりや社会の近代化など、近世から近代への転換の様子を、近世の政治や社会の違いに着目して比較・考察し、自分の言葉で表現できる。

★**論理的思考力**:「結論」あるいは「判断」の「根拠や証拠」を明確にし、順序立てて表現できる。  
 交流する場面で、前向きな疑問(批判的思考力)を質問することができる。

## 指導と評価の計画

### (1) 単元の評価規準

ア 社会的事象への 関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断・表現	ウ 資料活用の技能	エ 社会的事象についての 知識・理解
○明治維新による近代国家の形成と我が国の国際的地位の向上など、近代の歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に追及して近代の特色を捉えようとしている。	○開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化や新政府による改革の特色について多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	○開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化などに関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	○明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解し、その知識を身につけている。

### (2) 単元指導計画(全6時間)

時	学習内容	評価					「一中における コンピテンシー」
		関 意 態	思 判 表	技	知 理	評価規準 (評価方法)	
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>レディネステスト</p> <p>○ 明治維新における諸政策の内容を説明することができる。(時間数には入れない)</p> </div>						
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p><b>パフォーマンス課題</b></p> <p>侍(江戸時代)好きの宇宙人が日本にやってきました。ところが、現代の日本では、人々はスーツに身を包み、高層ビルが立ち並び、馬ではなく車がビュンビュン走っています。</p> <p>明治維新によって、侍の時代(江戸時代)が終わったことを知り、怒った宇宙人は、日本を江戸時代に戻そうとしています。</p> <p>あなたは、日本で学ぶ学生の代表として、宇宙人を説得することとなりました。明治維新の必然性を考え、説き、宇宙人を納得させて日本を救いましょう。</p> </div>						

1	<p><b>課題発見</b></p> <p>・明治維新政府での諸政策・改革について、江戸幕府の政策との共通点・相違点を捉える。</p> <p>【パフォーマンス課題の設定】</p>	◎			<p>明治維新による近代国家の形成と我が国の国際的地位の向上など、近代の歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に追及して近代の特色を捉えようとしている。</p>	
2	<p>・地租改正や富国強兵政策などの近代化政策が、欧米諸国に対抗する国づくりのために行われたことを理解する。</p>			◎	<p>明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解し、その知識を身につけている。</p>	
3	<p>・江戸時代と明治時代の教育機関や教育内容の違いを比較し、明治政府が何を育成しようとしたか説明する。文明開化によって、当時の人々の生活が大きく変化したことを、資料から読み取る。</p>			◎	<p>開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化などに関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p>	
4	<p>・当時の国際社会が条約をもとに成り立っていたことについて考える。</p> <p>明治維新により近代国家の基礎が整えられたことを理解する。</p>		○	◎	<p>明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解し、その知識を身につけている。</p>	
5	<p>(本時)</p> <p>・明治新政府の行った改革の特色を考える。</p>			◎	<p>開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化や新政府による改革の特色について多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。</p>	「論理的思考力」
6	<p><b>振り返り</b></p> <p>・明治維新政府での諸政策・改革について、江戸幕府の政策との共通点・相違点を捉える。</p> <p>【パフォーマンス課題の解決】</p>	◎			<p>明治維新による近代国家の形成と我が国の国際的地位の向上など、近代の歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に追及して近代の特色を捉えようとしている。</p>	

# 本時の学習

(1) 本時の目標

明治維新によって近代国家の基礎が整えられ、人々の生活が大きく変化したことを理解し、新政府による改革の特色を考えることができる。

(2) 本時の学習展開

学習活動	◇指導上の留意事項	評価規準・評価方法
	◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て	○教科 ★「一中におけるコンピテンシー」
<b>1 本時のめあてを確認する。(3分)</b>		
・本時のめあてを書く。	◇めあてを確実に書かせる。	
	【めあて】当時の世界情勢をふまえ、明治時代の政策のうち必然性の高かったものは何だろうか！？	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">パフォーマンス課題</div> <p>侍(江戸時代)好きの宇宙人が日本にやってきました。ところが、現代の日本では、人々はスーツに身を包み、高層ビルが立ち並び、馬ではなく車がビュンビュン走っています。</p> <p>明治維新によって、侍の時代(江戸時代)が終わったことを知り、怒った宇宙人は、日本を江戸時代に戻そうとしています。</p> <p>あなたは、日本で学ぶ学生の代表として、宇宙人を説得することとなりました。明治維新の必然性を考え、説き、宇宙人を納得させて日本を救いましょう。</p>		
<b>2 明治時代の政策の重要性について考える。(37分)</b>		
・根拠とともに自分の意見を表す。	◇自分が最もピラミッドランキングの上位に置いた政策を全体交流のために示させる。 ◇黒板に掲示している政策の欄に自分のネームプレートに掲示させる。	★「結論」あるいは「判断」の「根拠や証拠」を明確にし、ワークシートに記入できている。 (行動観察・ワークシート)
・意見を交流させ、考えを深める。	◇数名ずつ指名し、その政策を最上位に置いた理由を説明させる。 ・経済・軍事・文化の三面から意見を出させる。 ◆生徒の意見を板書し、自分の考えと比較させる。	★「結論」あるいは「判断」の「根拠や証拠」を明確にし、順序立てて表現することができている。 (挙手・発言)
「すべ」	「手立て」	★自分の考えと比較し、「本当にそれが正しいのか」という前向きな疑問をもつ。 (行動観察・ワークシート)
◇「結論」と「根拠」をもとに表現する。	◇ワークシートに「結論」と「根拠」の欄を用意し、箇条書きで整理させる。	
・交流後、新たに明治時代の政策をピラミッドランキングにする。	◇意見の変容があった場合は、なぜ変わったのかをワークシートに記入させる。	★「結論」あるいは「判断」の「根拠や証拠」を明確にし、ワークシートに記入できている。 (行動観察・ワークシート)

